

花の命

園生 広瀬 律子

皆さん知っての通り、サンルームに寮母さんが次々変わった花を持って来て下さいませ。その中の「姫月見草」を見てつくづく思いました。姫月見草の茎は、針仕事の糸ぐらいいで、花は小さくきれいな花びらをつけています。こんな小さな花でさえ、一人前に自分の身を支え、名前をもらった以上はと一生懸命に咲いています。

私達はどうぞでしょう。日々「ああでもない。こうでもない」と文句を言って、自由放題。花にもおとる心だどつくづく想います。花を見て知らされるとは情けないことです。

障害を持っていても、親からもらった身体を十分に使えば、もっと充実した日々を送ることができると思います。私の日々サンルームで見る小さな姫月見草を眺めて感じた事です。

実習日誌

山山東雲女子短期大学

沖 中 美 月

今、実習を終え、本来の日常に戻り生活

しています。今になって思えば、疲れたけれど、緊張し張りつめた雰囲気での実習をとても懐かしく思います。

短かい間でしたが、暖かく見守り、教えて下さった寮母さん、園生の方には、本当に感謝しています。あの一週間という日々は、私に多くのことを教えてくれました。日常的な介護、園生の対応の仕方という実技的な部分、園生と寮母さん、指導員さんとの心の触れ合い、という精神的部分、この2つのことは、寮母さん側からすれば、あたり前のことですが、無知な私にとって全てが勉強でした。

たしかに学校で習ったはずのこと、それが実行できず、とてもはがゆい思いで一杯です。あの時あすればよかった、こうすればよかった、と今でも、積極的でなかった私自身に後悔しています。

実習、それ自体は終わったのですが、また一つ、私の目の前に新しい課題を出されたような気持ちです。

三恵ホーム自体、とても明るい施設で、寮母さん、園生の方もとても明るく、この施設で実習できたことを、うれしく思います。



今治明德短期大学

小松 久 貫

三恵ホームでの実習を終えて、非常にたくさん学べたことを学ぶことができたし、自分なりにいろいろなことを理解することができたように思います。

身体障害者療護施設というものの内容、そしてそこで生活している園生達と深くかわれたことにより各園生の心情に触れることができましたし、多量なりとも園生の苦しさや寂しさなど、それを乗り越え楽しく過ごしている気持ちを共感することができました。それから、職員の方、寮母さん方のチームワーク、園生と寮母さん方の信頼関係の大切さなどを深く実感することができました。

三恵ホームでの実習は、今までに経験してきた施設と違い、過去のたいへんつらい出来事を背負っている園生や、健常者であったり突然に障害をもってしまった中途障害の園生などが多く、どのように接すればいいのか・・・。わずか一カ月の間に少しでも私になじんでくれるものだろうか・・・。などと不安だらけで初まりましたが、中にはとても深くかわかることのできた園生もあり、園生との交流は自分なりに満足のできるものになったと思います。

職員、寮母さん方には沢山の御指導を頂き心から感謝致します。ありがとうございました。